

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧(12/17現在)

No.	市民意見・質問(要旨)
1	<p>◆この広場の総称を市民に公募するとおもしろい(例)ふれあい広場、いきいの森、やすらぎの里</p> <p>◆「～広場」の役割を明確にすること(広報、立て看板等を使って)</p> <p>◆イベント会場として安易に使わないこと。ただし、屋外コンサートとしてお金を徴収し市の収入になるものであればやっても可→そのお金はこの場所の環境保全に使う</p> <p>【個別】</p> <p>◆優先順位1:道路(①西医院と新潟日報の間②営林署脇③表門前)を拡幅する</p> <p>◆優先順位2:「緑化」「防災」</p> <p>・「緑化」…大賛成。地球環境保全のために、とにかく緑を精一杯取り入れる。芝生はちょっとで良い。代々木公園、新宿御苑を意識して、とにかく並木通りを造るべし。冬にはライトアップし、観光スポットとして活かすことができる。余計なものは置かずに、とにかくシンプルに、かつ緑が多く、お金を掛けないことが大切。※遊具も置かないこと</p> <p>・「防災」…位置づけは適正です。防災ゾーンの構想は賛成できる。だから、道路の拡幅は急務でしょう。災害時にあんな狭い道では混乱が拡大するだけです。せめてトラック(大型バス)2台がすれ違えるくらいの幅が必要です。</p> <p>◆優先順位3:「歴史・文化」</p> <p>足軽長屋パート2を設置し、低予算の入場料をいただく(長岡の歴史文化博物館を真似る)。他に市ですべきことがあるはずなので30年後でも可</p> <p>◇不要なもの</p> <p>・「生涯学習」…生涯学習センター充実させるべき。新たなものは不要</p> <p>・「賑わい創出」…産業振興センターがあるでしょ。そこを活用すべき。批判の多い中、現在も利用しているんだから、大いに活用すべき。</p> <p>◇その他</p> <p>約80,000(市の人口)×1,000(1人1,000円の募金)=8千万円の予算を使う</p> <p>広報で市長が理解と協力を求める声を上げる。市民総参加</p>
2	<p>◎12/1発行「広報しばた」に添付された活用整備構想(案)については、具体的に記載されていないので、詳細な内容を知らない市民にはわかりにくいと思われます。</p> <p>◎庁内検討委員会について</p> <p>・庁内検討委員長は誰か？どのような手法で検討したか？何回開催したか？総括を庁内検討委員会(各委員)に報告しコンセンサスを得たか？</p> <p>・文化財調査審議会等の権威ある期間や団体の意見を聴取、もしくは指導を求めたか？</p> <p>◎「大手中の門」について</p> <p>・市民検討委員会で提案としてコンセンサスを得た「大手中の門」を何故はずしたか？(中間報告書P6に記載)(会議録にはP44～47に記載)を無視。</p> <p>・存在する大手中の門の2枚の古写真から、東・西・南・北の外観並びに高麗門や土居の形状がはっきりと認識できる。(全国的にみても超一級資料である)</p> <p>・古絵図・古文書・発掘調査を行えば、将来的には三階櫓・辰巳櫓と同様に復元(復興)が可能だということを、市内外の人たちが知っている。</p> <p>・「大手中の門」を構想(案)からははずすことは不自然であり、行政・跡地活用市民検討委員会・庁内検討委員会の資質と良識が問われ、時代(次代)の評価に耐えられない。そこで、「将来は大手中の門復元を志向し、此定地に対して最大の配慮をする」趣旨の文言を加えて欲しい。</p> <p>◎駐車場の位置と入口について再考を要す。</p> <p>・主たる導入路は城北町交差点と考えられるが、旧東櫓付近(紫雲寺線ガソリンスタンドの斜め向)が適当と思う。</p> <p>・間口を広くとれば出入に支障はない(個人的に得たバスドライバーの一言)</p> <p>◎P3④の末尾「観光客誘致のためではない」の文言は基本テーマ「賑わい創出」と整合性がない。</p> <p>◎土橋門・帯曲輪の復元の考えには敬意を表す。</p> <p>◎武家屋敷復原は望むところではあるが、場所については、あまりにも史実が無視されている。もし、(案)どおりにすれば映画等のロケ地のような陳腐な景観となる。当該地内においても、史実に適合する適当な場所がある。</p> <p>新発田市百年の大計にたち、しっかりとした構想をつくりあげてください。</p> <p>全くの緑地(城前広場あるいは城址公園)とし、適度の植栽のほかは建造物は設置しない。</p>
3	<p>【理由】</p> <p>1 この地は新発田のシンボルゾーンというべきところです。世界の由緒ある都市のシンボルゾーンは、大概は有名な広場ですね。やはりシンボルゾーンとしての城前には広場がふさわしいと思います。本当は二の丸すべて(営林署、新潟日報、旧市営住宅地を含む一帯)が広場であれば良かったと思うところです。</p> <p>2 ここに施設を造るというのであれば、深く考えてから着手して下さい。大倉製糸の跡地は何十年も放置されたままでしたが、この度、見事に駅前ゾーンとして甦りました。県立病院跡地も今は緑地のままとし、あとの利活用は次世代に任せましょう。</p> <p>3 市長も緑地化の意向がお強いようですが賛意を表します。</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧(12/17現在)

No.	市民意見・質問(要旨)
4	<p>◆「歴史・文化」「生涯学習」ゾーン(朱色)について 城との景観にマッチした建築物であることが重要である。となると第一に考えられるのは</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市内にある城下町時代の建築物を移築する ・武家屋敷(清水園横) ・その他、物、色または復元も可 ② 軍都の歴史を示すものを残す ・白壁の兵舎(自衛隊敷地内の歴史記念館)移転 ③ 歴史、民俗資料館的なものを附加する増築(新築) ・紫雲寺、豊浦等の歴史上意味のある精選されたものを検討して展示する—教育資料として位置付ける <p>①～③を通して新発田の歴史、あゆみが分かる学習資料として市民に親しめる楽しいスペースになるよう工夫が欲しい</p> <p>◆「生涯学習」ゾーン(紫色)について 生涯学習センター地域交流センターなど建築物としては、それなりに個性的ではあるが、市民にとって使い勝手の悪い。“市民に使いやすい”“親しまれる施設”を望みます。その第一として</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市民が市中央部での60人以上集える集会場のようなスペースが欲しい。「平らで運動し集会も可能なもの」 ② 市立美術館が県北の文化都市として存在しないのは、今ひとつ納得がいかない。 ※現在の市収蔵品の公開をより効果的に願うばかりである。
5	<p>※A案 ■「歴史・文化」「生涯学習」ゾーン 城下町としての記憶を忘れないような、仕掛けを新たに創出する。 1.馬出前の堀を一部再現し、本丸前の馬出の姿を復元する。(その際、御門前の道路は閉鎖し、土塁などを一部復元し、管理用の車両のみ入れるようにする。) 2.堀の底は空堀とし、全面にアヤメを植える。(堀の前面は階段状にし、容易にアヤメ園に近づける様にする。) 3.辰巳櫓東側敷地は、将来計画として住宅移転保障代替地としての空地とする。</p> <p>■「緑化」「賑わい創出」「防災」ゾーン 4.城址公園との繋がりを強く意識し、将来一体として利用できるよう計画する。 5.広い芝生・周囲を植栽した広場とし、災害発生時避難場所を確保する。</p> <p>■「賑わい創出」「防災」ゾーン 6.2つの駐車場を整備する。(駐車場内及び周囲は桜を植栽する。)(アスファルトを敷き詰めた舗装ではなく、緑の中の駐車場とする。)</p> <p>■「生涯学習」ゾーン 7.白壁兵舎を移築する。(郷土資料館として活用する。) 8.保存武家屋敷移築する。(休憩所、売店、展示場、東屋、茶室などに活用する。)</p> <p>※B案(予算を考慮しない場合) ■「歴史・文化」「生涯学習」ゾーン:A案に同じ。 ■「緑化」「賑わい創出」「防災」ゾーン 1.市役所を移転し、敷地全面に渡り新築する。その場合地上1階・地下2階建てとする。(地上1階・地下1階を市役所とし、地下2階を全面駐車場とする。) 2.屋上全面を芝生・植栽広場とする。(災害発生時の避難場所とする。また、屋上は階段、スロープ、身障者、高齢者用エレベーター(2箇所程度)で、地上と結ぶ。) 3.敷地周囲には、桜を植樹する。(1階市役所への採光確保と、周辺への配慮。地下部分部屋の採光と、通風のため、数箇所地上部への吹抜空間を作る。)</p> <p>■「生涯学習」ゾーン 4.必要あれば、地下1階部分に設ける。</p>
6	<p>1 「歴史・文化」「生涯学習ゾーン」 歴史的景観の整備ってなんですか？ また、表門 三階櫓 辰巳櫓の一体的活用で、なんで市民や子供たちの生涯学習に役立つんですか？</p> <p>2 生涯学習ゾーン 現在の「生涯学習センター」の活用は今後どうなっていくのですか？</p> <p>3 「緑化」「賑わい創出」「防災ゾーン」 市民の憩いの場として、また、イベントが開催できる場とありますが、新発田城址公園があるではないですか？ 防災の非難場所として城址公園並びに各学校のグラウンドを利用すれば済むことだと思いますが・・・ 海あり山あり川あり、豊かな田園風景に恵まれている本市にとって緑化なんて重要な問題ではないと思います。 ※もっと観光等に力を入れて市の経済効果を高めるような活用方法はないのでしょうか？ あっちにポツン、こっちにポツンと散らばっている歴史的建造物や武家屋敷等を一括集積し、新発田城と並行した観光施設の創作、並びに自衛隊に眠っている旧軍の「白壁兵舎」を市の資料館に活用する等色々あると思いますが・・・</p> <p>尚、行政でこれら施設、観光を第三セクター的方式でやっても上手くいかないと思います。夕張の二の舞になるのが落ちです。 民間企業と行政が一体となって、更なる経済効果の発展が望める活用方法を模索すべきだと思いますが・・・</p>
7	<p>新発田市は月岡温泉という観光客が県内外からの集客力がありながら、新発田市にお金を使う様な観光名所も薄く他の市町村へと移動してしまいます。新発田城といい新発田市のシンボルがあるわけですし、新潟ふるさと村の様な地元の産業をいかした土産店を作ってはいかがでしょうか？</p> <p>また、この土産館には、新発田まつりの華、しばた台輪6台を常時展示、数台の大型モニターではしばた祭りのあおりや揉み合いを放映し観光客に雰囲気を感じさせたいとおもいます。各町内では素晴らしい台輪格納庫があるのは知っていますが、わざわざ見学に行く人はいません。様々な伝統などで難しいかもしれませんが、台輪連絡協議会の方々と市民の要望や協力があれば可能になるかもしれません。観光客や市民のみなさんが新発田市にお金を使ってもらえる様な施設があってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>学習施設もいいですが利用する人はするが、しない人は生涯学習センターさえ、一度も利用した事ありません。 近年行われている全国雑煮合戦のようにだれでも気軽に楽しめる、そんな活気ある新発田市になってもらいたいですね。</p>
8	<p>第2の県立病院もしくは医師の住宅</p>

広報しばた(12/1号)に伴う意見公募手続提出市民意見一覧(12/17現在)

No.	市民意見・質問(要旨)
9	<p>【5つの基本テーマと4つのゾーンについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今必要なのは新発田百年の計だ。100年後のシバタはどう変わっているのか 短・中・長期でビジョンが示され、市民が理解できれば必ず具体化できる。(できない理由を考えないで、出来る方法を) ・「歴史・文化」「生涯学習」「賑わい創出」は必要でしょう。「歴史・文化」は姫路城、大阪、松本、名古屋各々を参考に、「生涯学習」は人をつくるため、小さな歴史にこだわることは反対。「賑わい創出」は活性化の重要課題。 <p>9【結論】</p> <p>ゾーニングをちまちました考えでまとめずに先を見据えて具体化して欲しい</p> <p>【将来の夢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新発田城、駅があり、春には弘前城に負けない桜が咲き市民の憩い場所 ・タバコ畑がなくなり緑と花の園になり、あちこちに楽しい老人ホームがあり、広大なシバタ緑地、シバタ海洋レク地などボランティアによるバスがくまなく走っている、そんなシバタにすんでみたいなあ
10	<p>○「生涯学習」ゾーンについて</p> <p>勤労者(特に私の様に家族を持っている人)にとって、仕事上のスキルアップのために資格取得等の学習を行う場所がない、昨今の狭小な家庭の事情は集中して学習を行える環境が非常に乏しいように思える。</p> <p>そこで、生涯学習ゾーンとなる部分に“自習”をするためのスペースを設けることを提案します。</p> <p>具体的には“自習”を目的にきた人が個室(インターネットカフェのブースのイメージ)で持ち込んだ参考書等を広げて学習するために、普通の事務机より広めの机を置き、広さは1～1.5坪/室程度。最近の学習の状況からインターネット環境(但しパソコンは設置せず、持ち込んだノートパソコン等からLAN接続(LANケーブルの貸し出し又は、無線LAN環境)してインターネット閲覧が可能)する。また、就労者が仕事が終わった後に利用できる様に深夜まで(できれば23時頃まで)利用できる。自習スペースはあくまでも“静か”に学習できる様グループ室は設けない、設ける場合は階を分ける等ゾーニングする。料金(有料とする)1時間¥100程度、以上が私の提案(希望)です。</p> <p>立地条件から公民館等のセミナーを中心とした施設や図書館などと一体的な使用をする事により相乗的な効果が期待できます。昨今の、就職難ではあるが人材が不足している状況を踏まえると、向上心を持った人に、学習する環境を整えることは新発田市の経済の発展等将来を見据えた場合には非常に有用であると考えます。</p>
11	<p>新発田市の活性化について(県立病院跡地の利用案)</p> <p>【提案】</p> <p>新発田市の産業・歴史・偉人等を紹介する観光館を建設し、観光客を誘致すること。それによって若者の働く場所が増え、地場産業の活性化になることを願います。</p> <p>特に来年はNHK大河ドラマの影響もあり、県内にも観光客が増える見込みです。それらを見過ごすことなく、新発田にも明日を運んでもらえるよう、旅行会社にも積極的に働きかけた方が良いと思います。新潟県内でも「新発田市には観光要因(資源)が数多くあるのに、それらを活用しきれていない」と市外の方からご意見をいただきます。ぜひ、早期に立案・活動して下さい。</p>
12	<p>1. 新発田城二の丸大手口のシンボル大手中の門、堀、土塁の復元について</p> <p>市の案では駐車場と芝生広場があるだけで、どこでも見られる都市公園です。新発田城の魅力を更に高めるためには二の丸の入り口に当たる大手中の門とそれに繋がる土塁、堀を可能な範囲で復元することが不可欠です。</p> <p>【公園の進入路について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化会館前の県道から公園への進入路は現在の森林管理所脇の市道から60mほどJA側に動かします。信号制御はJA側と連動させます。(清水園前と上鉄砲町の信号のように) ・この道路を市道認定し森林管理所脇道路と結びますが、大型バスは公園の駐車場より先は進入禁止とします。 ・県道紫雲寺線に接するGSの前の出入り口は、通常は使用せずイベント時に誘導員を配置し使用します。 <p>【防災施設としての堀、土塁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀はまさに防災施設です。集中豪雨の時は調整池として機能し、大火の時は防火用水、地震時の火事は水道が機能しなくなるため貴重な防火用水となります。堀の面積を確保するため進入路は橋で渡ります。大きな排水路が安兵衛衛生誕碑脇にあり道路排水を一時的に貯留する調整池としての効果も期待できます。堀幅20m×長さ100m×調整深さ1m=2,000m3程度見込まれ2～3時間の集中豪雨には十分対応できます。 ・また、土塁も大火の時の火除け機能もあり、いざと言うときに役に立ちます(旧安田町の火除け土居も現存) <p>【新発田城二の丸の景観形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁判所、市役所、文化会館と旧三の丸の通りを歩いてくると目の前に二の丸の土塁と門が出迎え、堀を右に眺め高麗門、渡り櫓門を潜ると遠くに隅櫓が見えタイムスリップした空間が出現します。また、中の門は文化会館や郵便局を訪れる人は必ず目にする事となり、中の門や堀、土塁は県道沿いから眺めることができます。図らずして多くのひとが城下町新発田のシンボル新発田城を意識し、歴史に触れるきっかけとなります。堀には睡蓮、堀端には花菖蒲、土塁上には桜などを植栽すれば四季を通じて通行人の目を楽しませることでしょう。 <p>【史実に忠実な復元は可能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査をすれば中の門、二の丸の堀、土塁の正確な位置まで解かり、埋め立てられた堀の中には中の門の石垣の石が埋まっている可能性が非常に高いと思われます。まず、用地を取得したら現在の市道から病院の駐車場の舗装を撤去して発掘調査をすべきです。 ・古写真も2方向から残っており、櫓門の寸法も安田蕉鹿が記録しています。 <p>2. 辰巳櫓脇への武家屋敷の復元について</p> <p>武家屋敷5棟、五十公野御茶屋長屋門の復元について早急な復元をすることについて異論はありません。ただ、辰巳櫓の脇とは最も安易な場所ではないでしょうか。本丸の直ぐ脇で下級武士の屋敷はあまりにも歴史を無視しているようでありませぬ。また1棟ずつポツンと配置し休息施設では、せつかくの5棟もある武家屋敷を生かしていません。あくまでも5棟まとめて、旧武家町を思わせる配置方法を検討すべきです。</p> <p>県立病院跡地にこだわるなら、かつて中の門の二の丸側に5棟ほどありました。ここなら歴史的にも問題はないでしょう。ただ、ここに配置するには、駐車場、芝生広場を減らさなければなりません。そもそも、全てを県立病院跡地に入れ込もうということに無理があるのではないのでしょうか。城を中心とした整備・利用を重点とし、歴史文化からの生涯学習、賑わい考えるなら、武家屋敷の適地は県立病院跡地にこだわる必要もないのではないのでしょうか。</p> <p>武家屋敷の復原場所については新発田城を中心とした区域ということでした。ならば下級武士の武家町に隣接した外ヶ輪公園の南側用地の活用こそ、次善の策として検討すべきではないのでしょうか。県立病院跡地にこだわらなければ城の景観整備、駐車場、広場の確保が可能となるのではありませんか。</p> <p>足軽長屋と新発田川の景観に匹敵する城下町の情緒ある景観を、武家町の面影を残す外ヶ輪裏と新井田川の流れる外ヶ輪公園と一体となって創ることができます。城にも近く生涯学習センター、小学校にも近いですし、学習センターから続く植栽は散策路として良好な景観を作り出しています。歴史を生かした落ちついた所であればこそ生涯学習、文化活動に利用できるのです。まち歩きも楽しくなるのではないのでしょうか。</p> <p>辰巳櫓の脇は袋小路であり、武家屋敷街としての配置は難しいでしょう。ポツンと1から2棟でしょうか。城趾公園のどん詰まりの休憩所では観光客も立ち寄らず、新たな魅力を創ることは難しく、学習施設としてもあまり利用されないのではないのでしょうか。人家にも隣接していて防災上の問題もあります。</p>

No.	市民意見・質問(要旨)
12	<p>* 辰巳櫓の脇は以下の問題点がありますが市としてどのようにお考えでしょうか。 (1)辰巳櫓の脇はあまりにも本丸に近く城の景観上問題がないのか、城の価値を下げることにならないか。 (2)人家に近く準防火区域内での茅葺きで復原する場合可能なのか。復原そのものは問題ないのか。 (3)下級武士の屋敷を本丸脇に配置することについて歴史的に違和感はないのか。 (4)この面積で武家屋敷5棟と御茶屋長屋門1棟復原できるのか (5)文化財関係者など専門的な知識を持った人の意見を聞いたのか。</p> <p>* 辰巳櫓脇の用地の活用についてですが、用地は自衛隊の敷地に大きく入り込んでいるので、この部分は自衛隊のとの交換用地とします。5億円も掛けた三階櫓、中は入れないまでもの自衛隊側用地を確保し、せめて、一番大事な櫓のコーナー部分や付け櫓を掘越しに眺められるようにすべきではないでしょうか。三階櫓下の内堀の復元と小広場を整備します。 残った辰巳櫓脇の用地は辰巳櫓の歴史景観整備のため内堀を復元し、櫓全体を眺める小広場の整備にとどめるべきです。</p> <p>3. 千載一遇のチャンスを生かし城下町新発田を代表する施設に 県では来年大観光交流年と位置づけ観光立県推進条例を制定するなど観光客誘致に力をいれています。国も観光庁をつくり国内外からの観光客誘致に本腰をあげています。 先日、県で開かれた会議では新潟の観光客は大幅に減少している旨報告があり、講師から新潟は米と酒しかイメージが無く町の特徴を生かし町並みを巡る町づくりでないと観光客は来ない。新発田市は県内他の市町村が羨むほど有数の歴史遺産、有名な温泉を有しながら、十分な活用されていません。他の城下町が城の景観整備を努力している中、新発田市は県立跡地が手に入るという飛躍千載一遇のチャンスが到来しました。芝生広場と駐車場を主体として整備ではどこでも見られる都市公園です。このような整備を実施すれば、新発田市だけでなく新潟県全体の損失となることでしょう。</p> <p>新発田城は県内の城郭の中で復元、整備にむけてこれほど条件が揃っているところはありません。県内唯一の現存城郭、なまこ壁の美しい櫓、切り込み接ぎの石垣、堀、復元された櫓、取り壊し前の姿を伝える多くの古写真などです。しかし残念なことに本丸と二の丸の北半分が今でも自衛隊の駐屯地として使われており、城は薄皮だけで中身がありません。このことが新発田城の入場者が増えない理由の一つです。 今回、二の丸の南半分が取得できるわけですから、本丸の周りだけでなく、二の丸の大手の門とそれに続く堀と土塁を復元することが、新潟県はもとより全国から注目を浴びることになります。決して箱物を創るわけではありません。武家屋敷街もふくめかつてあった城下町の景観を再現するもので、国や県の観光政策にも合致するものです。</p> <p>4. まずは新潟県の担当に相談を 県内で都市公園の整備では防災を主体とした公園は多くありますが歴史を主体として整備された公園は県内には実例がないそうです。近年観光(交流人口の増加)のための事業については条件が緩和されるようです。「まちづくり交付金事業」と「都市公園事業」、そして「歴史まちづくり法案」をうまく活用していけば素晴らしいものができます。 発掘調査、看板整備、箱物整備など「公園事業」では認められないメニューも「まちづくり交付金事業」では基幹事業や提案事業(事業費の28%まで4割補助)でも可能です。財政が厳しければ発掘調査実施後、石垣や土塁の一部でだけでも復元して市民の関心を高め、募金の視野に入れて本格整備するという二段階方式も可能です。ただ、総合的な市の負担を考え一気に実施した方が有利であれば大変結構なことです。一旦補助金を入れて整備すれば施設によっては数十年は手を付けることが難しくなります。新発田の命運を左右する計画と言っても過言ではありません。県立病院跡地に限定せず外ヶ輪公園など周辺地域も含め、市の整備構想(案)が固まる前に最新情報を有する県と十分相談して欲しいのです。 市の構想(案)では、どこにでもある公園で、歴史調査、歴史遺産を活用し町おこしに汗を流してきた心ある市民の皆さんのやる気を削いでしまいます。市は貴重な税金を投入するのですから、しっかりした計画を立てて急ぐもの、出来るものから着実に実行していく、こうすれば市民にも夢を与え、市外の人にも毎年楽しみに訪れるのではないのでしょうか。新潟市が背後に位置していること、他の市町村が注目していることを忘れてはなりません。新潟市に無いもの、県内、近県にない新発田だけの本物を見せるように整備していくことこそが交流人口の増加に必ずつながります。 新発田の名前が売れば、加賀野菜、長岡野菜などのように、新発田野菜、新発田の米、新発田の和菓子、という具合に県内はもとより全国的にも知名度が上がり観光だけでなく農業にも利益をもたらすこととなります。公共事業予算も抑制されていく中で、商店街に客が増えれば店を修繕するなど民間投資が増え相乗効果により新発田が元気になっていくのではないのでしょうか。</p>